「OKIDAIあいさつ＋１」運動に取り組んでいます！

沖代小学校では、12月1日の人権集会に向けて、「OKIDAIあいさつ＋１」運動に取り組んでいます。今回の活動の特徴は、特定の委員会だけでなく、すべての委員会が順番に担当し、学校全体であいさつ運動を盛り上げていることです。朝の登校時間に、正門や児童玄関に立ち、登校してくる友だちや先生方に元気よくあいさつを届けています。活動では、高学年の子どもたちが中心となって、明るい声であいさつを呼びかける姿が見られます。また、うれしいことに、担当ではない4年生の子どもたちからも「ぼくたちもやってみたい！」「私たちも一緒にやりたい！」という声が上がり、自分たちから進んで列に加わってあいさつ運動に参加する姿も見られました。誰かに言われてするのではなく、自分からあいさつを届けようとする気持ち。そして、その姿を見て「自分もやってみたい」と思う気持ち。あいさつ運動を通して、子どもたちの間に素敵なつながりが生まれています。











今回の「＋１」には、いつものあいさつに、笑顔や思いやりの言葉を一つ加えようという願いが込められています。あいさつは、相手の存在を認め、大切に思っていることを伝える第一歩です。沖代小学校では、これからも「OKIDAIあいさつ＋１」運動に取り組んでいきます。そして、この取り組みが子どもたちだけのものにとどまらず、ご家庭や地域にも広がり、学校・家庭・地域全体に明るく温かなあいさつがあふれていくことを願っています。